

# 北海道高等学校文化連盟

## 第19回全道高等学校ボランティア研究大会開催要項

- 1 主 催 北海道高等学校文化連盟
- 2 主 管 北海道高等学校文化連盟ボランティア専門部  
北海道高等学校文化連盟道南支部
- 3 後 援 北海道教育委員会
- 4 当 番 校 函館ラ・サール高等学校  
函館市日吉町 1-12-1 Tel 0138-52-0365 Fax 0138-54-0365
- 5 期 日 2022年11月25日(金曜日)9:00~16:30
- 6 会 場 各参加校 (Zoom ミーティング接続)  
ホスト校 函館ラ・サール高等学校 (運営)・各分科会担当校
- 7 参加資格 道高文連に加盟した学校の生徒であること。  
(Zoom ミーティング利用環境を用意できること)  
\*別紙「Zoom ミーティングについて」参照
- 8 参加経費 無料
- 9 参加申込 所定の参加申込用紙に必要事項を記入し、8月31日(水)までに校長職印押印の上、「函館ラ・サール高等学校内 高文連ボランティア全道研究大会事務局 小野寺敬之 宛」に郵送をお願いします。また参加申込書ファイルを「第19回全道高等学校ボランティア研究大会」ホームページからダウンロードし必要事項をファイルに入力の上、添付ファイルで下記メールアドレスまでお送りください。(事前アンケートにもご協力ください。)
- 10 大会事務局 〒041-8765 函館市日吉町 1-12-1 函館ラ・サール高等学校内  
第19回全道高等学校ボランティア研究大会事務局 (小野寺 敬之)  
Tel 0138-52-0365 Fax 0138-54-0365  
メールアドレス  
2022volunteer.zendou@gmail.com  
ホーム・ページアドレス (随時更新します)  
ここから参加申込書等ダウンロードしてください。



# 北海道高等学校文化連盟

## 第19回全道高等学校ボランティア研究大会実施要項

1. 目的 道内の高校生が実践しているボランティア活動を紹介し合い、交流を深める。また、分科会での研究活動を通じて今後のボランティア活動の糧とする。

2. テーマ 未来のために今できることを！～函館から～

3. 研修内容 (Zoom ミーティングによる遠隔開催)

①全体講演 森谷 康文 氏 (北海道教育大学函館校 国際地域学科 准教授)

演題：多文化社会日本・「共生」の内実

概要：コロナ禍前まで、訪日観光客が増加し、外国人技能実習生をはじめ日本で暮らす外国人も増加するなかで、日本社会において「多文化共生」が掲げられ、全国の自治体でも「共生」のための施策がすすめられている。その一方で、外国人技能実習生の労働現場での人権問題や国籍や民族に基づくヘイトスピーチなど、数々の問題も生じている。こうした現状と、日本社会の多文化の現状を把握し、多文化の「文化」とは何か、「共生」とは何かを考える。

②実践発表 北海道大野農業高等学校、北海道網走桂陽高校、北海道岩見沢農業高校

③分科会

第1分科会 「観光ボランティア」(清尚学院高等学校)

第2分科会 「国際協力ボランティア：JICA」(北海道知内高等学校)

第3分科会 「社会福祉活動：社会福祉協議会・募金」(北海道七飯高等学校)

第4分科会 「赤十字と災害ボランティア」(函館大妻高等学校)

第5分科会 「SDGs ボランティア」(北海道函館水産高等学校)

第6分科会 「地域振興ボランティア」(函館大学付属柏稜高等学校)

第7分科会 「認知症サポーター養成講座」(函館大学付属有斗高等学校)

第8分科会 「技能実習生サポートボランティア」(函館ラ・サール高等学校)

4. 日程 11月25日(金) Zoom 会議による遠隔開催

9：00～9：20	受付・顧問会議	接続確認・時程の確認と諸連絡
9：30～9：50	開 会 式	開会の挨拶・連絡・諸注意
10：00～12：00 (質疑応答を含む)	全 体 講 演	講師 森谷 康文氏
13：00～14：00	実 践 発 表	全国高総文祭報告と活動報告 北海道網走桂陽高校、北海道岩見沢農業高校 活動報告 北海道大野農業高等学校
14：30～16：00	分 科 会	ブレイクアウトルーム別の Zoom 会議
16：10～16：30	閉 会 式	閉式の挨拶